

鈴原だより

Suzuhara Elementary School News

Contents

ゼロ学期始まる
保護者の方へ「家庭での会話を」
新年のご挨拶



校長 春名潤一

0(ゼロ)学期はじまる！ 自分たちのクラス・学年をつくりだそう



本校ホームページ
QRコード

Ask not what your country can do for you; ask what you can do for your country.

- John F. Kennedy (ジョン・F・ケネディ) -

国があなたのために何をしてくれるのかを問うのではなく、あなたが国のために何を成すことができるのかを問うて欲しい。

さあ、年が明けて新しい学期が始まりました。

鈴原小学校には、「3学期」はありません。0(ゼロ)学期が始まるのです。6年生は中学1年生のゼロ学期です。「中学生ならどう考えて行動すればよいか」、普段の生活の中で考え、実行しましょう。同じく、5年生は6年生のゼロ学期です。鈴原小学校の最高学年として、リーダーシップを発揮し、他の学年の見本になりましょう。4年生は5年生ゼロ学期。「自立と挑戦」の学年です。3年生は4年生として、「自分から進んでやる」「仲間を大切にする」「人の話をしっかり聞く」力をさらに発揮する時が来ました。2年生は、いよいよ3年生。良い姿勢で元気よく何事にも頑張る姿を毎日の生活で見せつけてください。1年生は、いよいよお兄さんお姉さんになりますね。楽しく頑張るよい見本になってください。

先生に言われなくても自分たちで頑張る。誰にでも優しくできる。「よく聞き」「よく話し」「よく学び」「よく遊ぶ」鈴原小学校を自分たちの力でさらに素晴らしい学校にしていきたいと思います。

でも、それは学校の中だけではいけません。お家でも同じです。「今年はこの家事は必ず手伝う」「今年、これだけは言われなくても自分の力でやり遂げるぞ」といったことは、4月から始めるのではなく、もう今日から始めましょう。遅くとも今月中には計画を立てて実行して行ってください。

自分の力で自分のためにやることや、誰かの役に立つことは、「人に言われてやる」場合の何倍もの力を身に付け、成長の糧(かて)になります。頑張って一つ「背伸び」をしていきましょう。



謹賀新年

去年はコロナ禍2年目、「できない理由を並べるより、できる工夫をしてみよう」と、さまざまな学校行事に児童とともに挑戦しました。その分、保護者や地域の方々にはご不便をおかけすることも多かったこととお詫び申し上げます。

本年も、年明け早々オミクロン株拡大の様相があり、感染症拡大防止に気を引き締めて新しい学期を迎えます。ただし、普段の授業や行事を改善しつつより豊かな学びを提供する努力は、継続する必要があります。保護者や地域の皆さまには引き続き、ご支援ご協力を賜りますようお願いし、年頭のご挨拶といたします。

【家庭での会話を(その2)】



優秀な子どもに共通する能力とは、「きちんとしゃべれること」です。実はしゃべることは、ものすごく大事な力なのです。しゃべるには、自分が相手に伝えたいことを伝える能力が必要になります。それも相手にわかるような伝え方をしなければなりません。その伝え方を抽象化したものが「論理」です。人と人が理解できるのは論理だけなのです。

ですので、親が子どもを教育するときいちばん大事なことは、どれだけしゃべらせるかということです。優秀な子を見ていると、できる子ほど親に話を聞いてもらっている。しゃべることほど頭の鍛錬になることはない、といってもいい。いつ、どこで、誰が、何を、なぜ、どのようにしたのか。いわゆる5W1Hがなければ、自分が話したいことは相手に伝わりません。ですから、親は子どもに勉強を教える必要はないのです。むしろ、子どもに教えてもらってください。

子どもは新しいことを知れば、うれしくなって話すものです。そうやってしゃべることが子どもにとって勉強の最大の復習となるのです。どんな話でも構いません。親は、子どもが話を始めたら、5W1Hを使って適度に合いの手を入れることで、話を広げる手助けをしながら、じっくり話を聞いてあげてください。

(「開成・元校長の柳沢幸雄「優秀な子」に共通する、ある能力とは？」より)